

平成29年7月10日（月） 全校朝会 校長講話

夏休みを迎えるまで、今日を含めて授業日は、あと8日です。都路中学校をもっと明るく楽しい学校にするために、君たちにできるようになってほしいことがあります。それは、「気持ちのよいあいさつ」ができることです。「気持ちのよいあいさつ」とは、まずはあいさつをされた相手が「気持ちよい」と感じることです。では、「気持ちのよいあいさつ」とは、どのようなあいさつだと考えますか。これは、君たちへの宿題とします。各学級・学年で、各部活動で、生徒会役員で、夏休みが終わるまでに話合いの機会をつくってください。夏休みが終わったら、代表の生徒が意見をまとめ、全校朝会などで発表してください。よろしく願います。

都路中学校が、明るく楽しい学校であるために、もう一つ話をしたいと思います。「それでも僕は桃を買う」という宮城県の中学3年の男子生徒が書いた作文を読みます。

（作文は別紙）

この作文で述べられているような偏見や差別をなくすための取組を、都路中学校でも行っていく必要があると考えています。なぜなら、偏見や差別は、人権や人の命にかかわる問題、いじめともつながっているからです。都路中学校では、「学校いじめ防止基本方針」というものを定めています。「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌いなことを言う」、「仲間はずれ、集団による無視をする」ことなどをしたり、見過ごしたりすることが都路中学校で起きないように、また、起こったときには、「いじめは人間として絶対に許されないこと」であるとして、力を合わせて立ち向かい、解決に向けて行動していきます。

皆さん一人一人にとって例外なく、都路中学校が明るく楽しい学校であるために、「気持ちのよいあいさつ」と「偏見、差別、いじめ」について、これからも全校生で取り組んでいきますので、今日の話をお忘れないようにしてください。